

PingChecker プログラム 操作/設定 マニュアル

初版 2008 年 1 月 15 日

作成

F.Sugimura

Index

	Page
1. 概要	2
2. 使用条件	2
3. 展開したソフトウェアのディレクトリ/ファイル構成	2
4. ディレクトリ/ファイルの保存先について	2
5. メール設定	2
5-1 メールサーバなどの設定	2
5-2 疎通不可時のメール本文用テキスト設定	2
6 疎通確認する機器の設定	3
7 疎通確認に関する設定	3
8 実行方法	3
9 送付されるメール	4
9-1 疎通不可を検知した場合	4
9-2 疎通回復を検知した場合	4
10. log ファイルについて	4
11. 定期的な疎通確認を行う場合	5
12. Demo 版での制限されている機能	5
13. 正式版へ乗り換える場合	5
14. カスタマイズについて	5
15. 連絡先メールアドレス	5

1. 概要

サーバ/機器に対して Ping 疎通確認を行い、疎通不可/復旧の場合にはメールで通知を実施するソフトです。
全ての設定をテキストファイルの編集で行いますが、比較的容易に設定可能だと思います。
本ソフトは WMI の機能を使用するので Windows 上でしか動作はしませんが、運用上での使用には十分だと思っております。
なお、疎通確認の対象となる機器は Windows 系である必要はありませんのでご安心下さい。

2. 使用条件

OS : WindowsXP/Windows2003Server

3. 展開したソフトウェアのディレクトリ/ファイル構成

- PingChecker.exe : 実行用ファイル (Demo 版の場合は『PingCheckerDemo.exe』となります)
- mailing.txt : メール送信設定ファイル
- calling.txt : メール本文に追加する文章を記載するファイル (Demo 版では使用不可)
- server_check.txt : 疎通確認を行う機器を記述するファイル
- setting.txt : 疎通確認のタイムアウト値などを設定するファイル
- server_Up.txt : 疎通回復時のメールテキスト (編集の必要はありません)
- server_Down.txt : 疎通不可時のメールテキスト (編集の必要はありません)
- Readme.pdf : 本解説書
- Ping_Status_Code.csv : Ping ステータスコード一覧 (参考文献)
- Log (ディレクトリ) : log ファイル保存用ディレクトリ

4. ディレクトリ/ファイルの保存先について

解凍した『PingChecker』ディレクトリを任意のディレクトリに移動して下さい。
実行に関しては、どのような場所に保存していても問題ありません。
ただし、展開したファイル/log ディレクトリは必ず同一のディレクトリに置くようにしてください。

5. メール設定

5-1 メールサーバなどの設定

『mailing.txt』をメモ帳などで開き以下のように編集し保存しておきます。

- 1行目 : メールサーバのアドレスを記述
- 2行目 : 送信元アドレス
- 3行目 : 送信先アドレス

※ 送信先が複数になる場合は『;(セミicolon)』で区切り連続で記載します(改行は入れない様に！)

※ 記述例

```
mail.hogehoge.co.jp
*****@hogehoge.co.jp
hogehoge@hoge.co.jp;*****@ezweb.ne.jp;*****@docoomo.ne.jp
```

5-2 疎通不可時のメール本文用テキスト設定 (Demo 版では使用不可)

『calling.txt』をメモ帳などで開き、編集が出来たら保存しておきます。

行数や文字数に制限などはありません。

緊急連絡先などを記載しておけば良いかと思います。

疎通不可を検知した際には、メールの最後にこのテキスト内容が追加されて送信されます。

文章を追加しない場合でも、空のテキストファイルとして保存しておいて下さい。

6. 疎通確認する機器の設定 (Demo 版では 1 台のみ設定可能)

『server_check.txt』をメモ帳などで開き、編集が出来たら保存しておきます。

記述方法ですが 1 行毎に機器の情報を 4 項目に区切って記載します。また、各項目の間は『,(カンマ)』で区切ります。

・ IP アドレス,サーバ名,0,メール送信時の追加コメント

※ 3 番目の項目には必ず『0(ゼロ)』を記入しておいて下さい。

※ 4 番目の項目が必要な無い場合でも、直前のカンマは記述しておいて下さい。

※ 行の先頭に『#(シャープ)』を入れると注釈行になります。

※ メール送信時の追加コメントは Demo 版では使用不可です。

※ 記述例

```
#####  
# Check Server 一覧ファイル  
#####  
  
# IP アドレスを指定すると、指定のサーバなどへ Ping を送信します。  
  
# 記述方法  
# IP アドレス,サーバ名,0,メール送信時の追加コメント(必要の無い場合でもカンマは記述しておく事)  
# ※ 必ずカンマ区切り  
  
# 先頭に"#で注釈行  
  
# 6F サーバ室に設置  
192.168.0.1,server1,0,  
192.168.0.2,server2,0,メールサーバ  
  
# ハウジング設備に設置  
192.168.0.3,server3,0,連絡は***まで  
192.168.0.4,server4,0,
```

7. 疎通確認に関する設定

『setting.txt』をメモ帳などで開き以下のように編集し保存しておきます。

・ 1 行目 : 疎通確認時のタイムアウト値(ms)

・ 2 行目 : 送信するバッファサイズ

※ 設定例 : タイムアウト 5 秒、バッファサイズ 512 Byte

```
5000  
512
```

※ 上記 2 行以外は記述しないで下さい。(余分な改行も加えない事)

8. 実行方法

ここまでの設定が終了すれば後は実行して疎通確認を行うだけです。

『PingChecker.exe』を起動すれば疎通確認を実行します。

9. 送付されるメール

9-1 疎通不可を検知した場合

項番 5-1 で設定した送信先アドレスに以下のようなメールが送信されます。

件名	サーバ疎通不可 検出
差出人	*****@hogehoge.co.jp
送信日時	2008/01/05 23:01
宛先	hogehoge@hoge.co.jp;*****@ezweb.ne.jp;*****@docoomo.ne.jp
本文	2008/01/05 23:00:00 192.168.0.1 : server1 192.168.0.3 : server3 連絡は***まで 上記サーバへの疎通不可を検出しました。 * * * * * * 緊急連絡先 090-999-9876 * * * * *

9-2 疎通回復を検知した場合(Demo 版では使用不可)

項番 5-1 で設定した送信先アドレスに以下のようなメールが送信されます。

件名	サーバ疎通回復 通知
差出人	*****@hogehoge.co.jp
送信日時	2008/01/05 23:11
宛先	hogehoge@hoge.co.jp;*****@ezweb.ne.jp;*****@docoomo.ne.jp
	2008/01/05 23:10:00 192.168.0.1 : server1 192.168.0.3 : server3 上記サーバへの疎通回復を検出しました。

10. log ファイルについて

疎通確認時において自動的に log ファイルへ状態が記載されます。

log ファイルの保存先は『log』ディレクトリとなります。

システム日付を参照して日付のファイルを作成し、疎通確認を実施する毎に追記していきます。

なお、log ファイルに記載される内容は以下の通りです。

- ・ 状態,日付,時刻,IP アドレス,名称,状態コード,レスポンスタイム

※ 記述例

```
-状態,日付,時刻,IP アドレス,名称,状態コード,レスポンスタイム-----  
OK, 2008/01/15, 21:18:38, 192.168.0.1, server1, 0, 1 ms  
Request Timed Out, 2008/01/15, 21:18:42, 192.168.0.2, server2, 1,  ms  
-状態,日付,時刻,IP アドレス,名称,状態コード,レスポンスタイム-----  
OK, 2008/01/15, 21:28:38, 192.168.0.1, server1, 0, 1 ms  
OK, 2008/01/15, 21:28:38, 192.168.0.1, server2, 0, 2 ms
```

※ 状態に関する内容は『Ping_Status_Code.csv』(Ping ステータスコード一覧)をご覧ください。

※ 6 番目の項目である状態コードですが、0 は疎通可、1 は疎通不可を意味します。

11. 定期的な疎通確認を行う場合

『PingChecker.exe』を Windows タスクや自動タスク実行ソフトに登録し、定期的な疎通確認を行うように設定してください。(10 分おきに実行するなど)

設定する方法がわからない場合は、Windows タスクに登録する方法を例として別紙解説書を送付させていただきますのでメールにてご連絡下さい。

12. Demo 版での制限されている機能

- (1) 1 台分のチェックのみに限定しています。
- (2) 疎通回復時のメール送信が不可です。
- (3) 疎通不可時の追加コメントがメールに記載されません。
- (4) 疎通不可時の送信用テキストがメールに記載されません。

13. 正式版へ乗り換える場合

本ソフトはシェアウェアです。

正式版を使用する場合は、シェアウェア料金として 1,000 円(税込)をお支払い下さい。

まずはメールにて以下の内容をご連絡下さい。(メール連絡先は本説明の最後に記載しております)

- ・ メール件名 : PingChecker 購入について
- ・ 氏名
- ・ 住所
- ・ メールアドレス
- ・ 使用場所(会社・自宅など)

追ってご購入手続きをメールにてご連絡いたします。

ご入金頂いた後に本ソフトの正式版を送付させていただきます。

14. カスタマイズについて

本ソフトのカスタマイズをご希望の方はメールにてご連絡下さい。

出来るだけ希望に沿った内容でカスタマイズを承ります。

その場合カスタマイズ料金がシェアウェア料金とは別に発生します。

15. 連絡先メールアドレス

e-mail : fsugimura.software@gmail.com